

生駒市ごみ減量市民会議(H30年度第3回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成30年10月10日(水) 午後1時30分～午後3時38分

2. 場 所 市役所4階401・402会議室

3. 会議次第

報告事項

(1) 鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会(連合会役員含む。)

懇談会について

(2) 谷田町自治会懇談会について

(3) 生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果について

(4) 夏休み環境自由研究「ごみキエーロしよう!」

生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果について

(5) 一日環境教室実施結果について

(6) 子どものエコクッキング教室実施結果について

協議事項

(1) 生駒市北中学校校区地域づくり文化祭について

(2) いこま魅力博での啓発活動について

(3) 懇談会(東旭ヶ丘自治会)開催について

(4) エコクッキング教室の開催について

(5) 食品ロスチラシの作成について

分科会

その他

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、藤澤 清二、山田 龍三、藤尾 庸子、清水 綾、
奥田 高弘、小山 忠昭、下山 一則、藤中 章夫、寺井 孝幸、山村 浩之

【事務局】奥田(市民部長)、竹本(環境保全課長)、木戸(環境保全課課長補佐)、
大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略)永野 洋子、田中 勝久、山口 昭夫、

6. 傍聴者 0名

7. 会議内容(要旨)

案件

報告事項(1)

●鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会(連合会役員含む。)懇談会について
事務局 <資料1鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会懇談会実施結果説明>
座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

報告事項(2)

●谷田町自治会懇談会について

事務局 <資料2 谷田町自治会懇談会実施結果説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

報告事項(3)

●生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果について

事務局 <資料3 生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

報告事項(4)

●生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果について

事務局 <資料4 夏休み自由研究「ごみキエーロしよう!」生ごみ処理器「キエーロ」製作講座実施結果・資料5 キエーロ製作講座実施状況説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

参加者 継続使用率は65%高いですが、アンケートへの回答率はどうですか。

事務局 表のとおり回答率も高いです。

参加者 使用を中止した要因は何が多かったですか。

事務局 次回の会議で報告しますが、集計中ですが「処理が面倒」「臭いがする」「虫が発生する」など前回と同じ内容だったと思います。

座 長 アンケートは、どこまでしていますか。

事務局 平成29年7月までです。

参加者 製作講座に参加させていただきましたが、今回も立派に製作講座が出来たのは、日曜大工ボランティアのハート工房さんの力が大きいと思います。前回も言いましたが、せめてお茶だけでも出させていだいて、ほんわかした雰囲気を進めていけたら良いと思いました。

参加者 臭いがするので辞めたという意見があったということですが、臭いがなくなれば継続するということでしょうか。

参加者 うまく使っていればあまり臭いは無いと思うのですが。

座 長 上に土を被せていないので臭いがするという事ではないでしょうか。

小学生の夏休み自由研究の研究結果が今日から1階ロビーで展示していますので、見られた方もおられると思いますが、今回3年目で見かけも含めてまとまってきたと思います。また、我々の活動でも使えないかと思っています。

事務局 今回3回目で、研究成果を見ていても段々と熱心になってきているなど感じました。当日のメンバーの方からも言ってもらいましたが、消えないと思うもの

でも色々なことを試していただきたいと伝えていました。それが今回の研究結果に表れているように思います。

座 長 上手く研究結果を表にしてあるものもありましたが、例えば今度のいこま魅力博等のイベントで使えたらと思います。

事務局 今回の展示は、すべての提出者のものを展示していますが、展示する人と展示しない人がでるので難しい面もあるのかと思っています。

座 長 今月30日まで展示していますので、みなさんも見ていただきますようお願いいたします。

報告事項(5)

●一日環境教室実施結果について

事務局 <資料6 一日環境教室実施結果説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

参加者 今回参加させていただいて、分別の必要性が分かりました。こういうことは、子どもの内から徹底すれば、これからの世の中で役立つように思います。参加者の人数は少なかったですが、もっと大々的に行ってよいと思いました。

座 長 当初聞いていた人数より減っているようですが、キャンセルがあったのですか。
事務局 何名かキャンセルがありました。去年から始めましたが、去年よりは多いと思います。今後も定期的に実施し、見学する場所も工夫していきたいと考えています。今回のリバーズさんは、いこま紙のトイレトペーパーを作っているところで分かりやすかったと思います。

座 長 アンケートに「自治会の古紙回収にシュレッダーごみを出さないほうがよいことが分かった。」とありますが、どういうことでしょうか。

事務局 見学したマツユキさんがシュレッダーのリサイクルが得意ではないので、担当者レベルの話でそういう理解がされてしまったのかと思います。

座 長 無記名でのアンケートでフォローすることが出来ないのが残念ですが、シュレッダーごみは、資源回収の一つの材料なのだという感じがします。また、相対的に人数は少なかったですが、環境にすごく関心があって前向きな人が多いということがアンケート結果を見て感じました。また、「環境のために何をしていますか」という質問に、「分別」というキーワードがいっぱい出てきています。このことは環境に対してかなり前向きな人で真剣に考えている人が多かったのではないかという感じがしました。また、「今回の一日環境教室を何で知りましたか」という質問には、「学校でもらった案内用紙」が一番多かったですが、方法論として一番効果的かなと感じました。やっぱり子どもが学校からもらってくるプリントに親は必ず目を通すのということだと思います。これも今後の活動のキーワードになるのではないかと思います。

報告事項(6)

●子どものエコクッキング教室実施結果について

事務局 <資料7 エコクッキング教室実施結果説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

参加者 実施させていただきました立場から、エコクッキングというものにうまくあった料理教室になったのかという不安はあるのですが、子どもをターゲットにして、30人近くの子どもが集まる場を活用させていただいて、啓発もして料理をつくって一緒に食べて過ごすという内容で進めさせていただいたのですが、子ども達も協力的に提案したことに答えてくれたり、活動としては良かったかなとこちらでは思っております。子どもが集まる機会はあまりないので、こういう場を活用させていただいて、皆さんからこういうふうに啓発したら良いとかこういうふうに進めたら良いとかご意見をいただいて内容の良いものにしていきたくと思いますのでご協力よろしくをお願いします。

座長 エコクッキングは、日常中々体験できるものではないと思いますので、自ら体験していただくことで、啓発になるのではないかと思います。今年度後3回よろしくをお願いします。

協議事項(1)

●生駒市北中学校校区地域ぐるみ文化祭

事務局 <次第により生駒市北中学校校区地域ぐるみ文化祭について説明>

座長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 駐車場は確保されているのですか。

事務局 近隣で確保できます。

参加者 市公用車の利用は可能ですか。

事務局 市から公用車で送迎させていただきます。

座長 参加いただける方、挙手をお願いします。

《生駒市北中学校校区地域ぐるみ文化祭参加者確認》

事務局 出席者には詳細の連絡させていただきます。

協議事項(2)

●いこま魅力博での啓発活動について

事務局 <次第・資料8高山サイエスタウン位置図平面図・
資料9生駒市ごみ減量市民会議アンケート説明>

座長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 会場への交通機関はどうなっていますか。

事務局 学研北生駒駅から無料のシャトルバスが出ていますのでご利用ください。

座長 参加いただける方、挙手をお願いします。

《いこま魅力博参加者確認》

事務局 出席者には詳細の連絡させていただきます。

協議事項(3)

●懇談会開催について

東旭ヶ丘自治会

事務局 <次第により東旭ヶ丘自治会懇談会について説明>

座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。
参加者 参加者は何名ぐらいになりますか。
事務局 現在、自治会で募集されているところで不明です。
座 長 参加いただける方、挙手をお願いします。
《いこま魅力博参加者確認》
事務局 出席者には詳細の連絡させていただきます。

協議事項(4)

●エコクッキング教室の開催について

事務局 <資料 10 により説明>
座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。
参加者 公募のエコクッキング教室ですが、幼児を連れての参加は可能ですか。
参加者 子どもの参加はできませんが、来ていただければ、ダッコしながらでも良ければ参加していただきます。
参加者 人数が足りなければ、育児ネットでも声掛けさせていただきます。
事務局 よろしくをお願いします。幼稚園の保護者の年代の方と我々が接する機会は殆んどありませんので良い機会だと思います。同時にごみの減量の話をしていただければと考えています。
座 長 2年間懇談会をやって考えが変わったのが、若い人は、共稼ぎや時間が無くて興味があっても分別が出来ない方が多いと勝手に思っていたが、懇談会をやってから、若い人でも前向に考えて行動する人が結構多いことに気がきました。こういう機会が啓発するチャンスだと思います。去年の育児ネットの料理教室でも、少し勉強会をした時も真剣に聴いていただいて若い人に対するイメージが変わりました。
それでは、参加いただける方、挙手をお願いします。
《エコクッキング教室参加者確認》
事務局 出席者には詳細の連絡させていただきます。

協議事項(5)

●食品ロスチラシの作成について

事務局 <追加資料 1 食品ロスチラシの説明>
座 長 事務局の説明に質問等ございませんか。
このチラシを最初に使うのは何時頃ですか。
事務局 いこま魅力博で使えればと考えています。この後の広報分科会でも意見をもらう予定ですが、広報分科会以外の方にも良ければご意見をいただきたいと考えています。
座 長 個人的な意見として646万トンとあるのが、規模感が分かり難いので、例えば「国内のお米の生産量と同じ」とかどのくらいの規模か分かりやすくした方が良いと思いました。

- 参加者 消費期限と賞味期限の違いを表に出して分かりやすくすることは良いことだと思います。これを分らずに捨てる人もいます。
- 参加者 646万トンというのは、どこから出た数字を使っていますか。出典をハッキリさせた方が良いでしょう。
- 事務局 こちらでも小さいところは修正していこうと思っていますが、最新の数値で農林水産省及び環境省「平成27年度推計」を使っています。
- 参加者 他のチラシでは、いつも数値がコロコロ変わるので大まかな数値で約500～700万トン等を入れています。
- 事務局 環境省にも問い合わせをしましたが、長く使うのであれば、例えば約600万トンとするのも良いのではないかと聞いている。
- 参加者 表面下の写真横の文書が裏のページとダブっている。もう少し違う書き方をした方が良いでしょう。
- 参加者 細かいことは分科会で調整しましょう。

分科会

- 座長 本年度の事業計画で、今年度はさらなる活動中心の会議にしていく、啓発活動をずっとしていく、また、どういう効果のある啓発活動をしていくかということ全体会議の位置付けとして今年度スタートしました。4月に広報分科会と事業分科会に分けて示させていただいて、この10月で3年目の最終年度に当たりますし、残りの半年間の活動をどうしていこうかということで本日分科会を開催しようと思っております。広報分科会・事業分科会共に関わる新規事業として、「食品ロス」と「〇〇運動の推進」を進めようということに決めたのですが、「〇〇運動の推進」が進んでいない。駅でのキャンペーンをしたらどうかということとか、30・10(さんまるいちまる)運動とか、そういう運動を進めようということを決めているのに手つかずになっています。そういうことも含めて分科会で話し合っただきたいと思います。分科会は30分間として後に報告を受けていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

《 広報分科会・事業分科会に分かれて話し合い 》

- 座長 広報分科会から報告をお願いします。

広報分科会報告

広報の分科会から簡単に報告させていただきます。まず、チラシについてなんですが、全体会で出た意見は省略させていただきます。全体会で出て中途半端になっていた部分、表面下の写真の横の文書は、重複していますので無しにして、その所に別の情報を入れるか、もしくは上段の646万トンの根拠を入れるとか、分かりやすくするというので、スペースが取られるので、表面で調整をしていただくということになりました。

裏面については、言葉の点で、「冷蔵庫や食器棚などを・・・」のところでは食器棚は食器を入れるところなのにこれで良いのかという意見がでました。他にも細かい意見が出ましたので、検討していただくということになりました。他にも細かい意見は出ましたが、おおむねチラシのイメージとしては、非常にわかり安くまとめているということなので、その意見を踏まえた上で調整していただきたいということになりました。広報分科会以外の皆様もチラシについて思いつかれたご意見がありましたら環境保全課へ今週中に連絡をお願いします。それで業者さんに調整した案を作成していただきます。チラシについては、以上です。

もう1点広報分科会で話し合ったのは、広報いこまちへ掲載する記事についてですか、広報広聴課に確認しましたところ、シリーズもので掲載していただく場合は、毎月というのは困難だが、2ヶ月か3ヶ月に1回というのであれば可能とのことでした。提案時期については、4月から掲載するのであれば、3ヶ月前ぐらいまでには、記事がほしいということです。記事というのは、どういう内容を載せるかということと年間のスケジュールというものを持っていかなければならないということが分かりましたので、広報分科会としては、今回幾つか意見がでたんですが、再度11月12日の午後1時30分から分科会を開いて、広報いこまちに掲載する記事内容に関する意見を取りまとめることになっています。取りまとめた内容を次回の12月20日の全体会で提案させていただいて、他のメンバーの皆さんのご意見もお聞きしたうえで、1月の頭ぐらいには広報広聴課のほうに提案させていただきたいと考えております。この点につきましては、広報分科会で話し合った内容ではあるんですが、ご承認いただければ、分科会のほうで進めていきたいと思っておりますので、ご検討よろしくお願いたします。

座長 広報分科会の説明に質問等ございませんか。

広報分科会の提案に関しまして広報分科会の活動に一任ということによろしいですか。

《参加者からの質問・異議等なし》

座長 それでは、広報分科会に一任とさせていただきます。

次に、事業分科会から報告をします。

事業分科会報告

すでにスケジュール化されている協議事項についてですが、「いこま魅力博」、「北中学校区地域ぐるみ文化祭」についてですが、まず、キューロモニターの募集は、いこま魅力博は20台・地域ぐるみ文化祭は5台の限定で募集していこうということになりました。

次に懇談会に関しまして、講義型を要望されているとのことですが、ある程度事前のグルーピングをして席を決めておこうということになりました。当日の状況に応じ

て対応していこうということですが、1時間では出る意見も少なく、小グループのほうが意見交換もしやすい等の利点がありますので、メンバーの参加も多いので十分対応可能と思いますので、こういう形式でやっていきたいと思っております。

後、新しい事業として、事務局から高山町久保と北大和で懇談会が予定されていることと、小瀬町で2月に懇談会を前向きに検討していただくということになりました。

次に新規事業として「〇〇運動」の具体的なアイデアについて検討したところ子どもを対象とした環境のごみ減量啓発の日を設定しても良いのではないかという意見が出ました。また、子ども達に対して意識づけするのに、絵でみせること、ビジュアルで見せる。遊び的なことで分別の啓発ができるのではないかということ。それとキャラクター的なものを作って、絵を中心に手作りで啓発の活動に活用できるツールにできないかなという話でまとまりました。

具体的には、衛生社さんがやっている「出前の分別教室」という授業がありまして、幼稚園や保育園から要望があった場合にそこに出向いて、ごみの分別について授業を年間を通してしていただいているものがありまして、そこにジョイントして、先ほど言った絵心・遊心で何かごみの啓発ができないかなということになりました。今年度は計画も決まっているということなので、後程、日程を聞いて都合が付けばどんな雰囲気なのかを見学して、今年度か来年度か分かりませんが、新しい時には、我々のところがそこにジョイントできないかということでまとまりました。

これは、決定ではなく、アイデアの段階なので、次回の会議でもう少し肉を付けていけるようなご意見等あればお願いしたいと思います。

4. その他

●食品ロス削減全国大会について

事務局 <追加資料2 食品ロス削減全国大会開催案内>

座長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 行政は行かれるのですか。行かれるなら資料を貰ってきていただいて見せていただければ参考にすることもあるのではないかと思います。

事務局 事務局も参加します。

座長 交通手段はどうなりますか。

事務局 参加されるメンバーの人数にもよりますが、駐車場もございませんので、現地集合でお願いしたいと思います。

座長 参加いただける方は事務局に連絡いただきますようお願いいたします。

《事務局より事務連絡》

座 長 それでは、最後に少しだけ時間をいただきます。私の私的な意見で皆さんがどう思われるかがあるんですが、本日は時間がありませんので、次回の会議で論議できればと思うのですが、ごみの減量の単位のこと、来年までに25%減量という目標で動いておりますが、単位が「kg」・「t」・重量なんですね。これは世の中日本国中すべて「t」で統一されているので、「t」で言うのはかまわないですが、「t」でいうと有料化になった初年度で約11%から12%減量しているということで事実の数字です。今現在は、横這いの状況で、100%から101%を推移しているというこれも事実の数字です。ところが2年間啓発活動・その前のトライアルも含めての実感なのですが、2年前にイベントで「ごみが減ったと思いますか？どうですか？」を聞いたところそれぞれの住民・市民は「減りました。」と言っていますよね。皆さんもごみ集積所を見たら減ったと実感され、前はこんなでしたが、今はこんなになっているという意見が多いわけです。市民感覚では減ったと思っている訳です。だけど実際には数字は10%しか減っていないというのがオフィシャルに流れているわけです。行政も指定袋をリッターだから容量で売っているわけです。45ℓ・30ℓ・15ℓの袋で、45ℓを30ℓにしましょうね、30ℓを15ℓにしましょうねと言っていて、生駒市の平均値になると30ℓと15ℓが多くて、それぞれ30%ぐらい使っています。ごみが10%ぐらいしか減っていないと言っているのに、市民の人は皆、減った減ったと言っています。組成調査の結果を見ると容量で31%から33%に減っているんです。組成調査では重量で見ると9%ぐらいしか減っていないのです。重量では10%前後の減少でも容量では33%近く減っているのです。市民感覚は、この33%を言っているんだと思っているんです。市民は「減っている」と言っているのに、行政から出る言葉は、「減っていません」と言っている。これは間違いではないが、市民が努力して33%も減らしているということを、我々はもう少しアピールしていかなければならないのではないかなと思うんです。オフィシャルはあくまでも「kg」・「t」なのでどうしようもないですが、市民感覚としては、そういうことだからということが1点あります。そのへんを皆様がどう思われているのかということ、次回の会議でご意見を賜りたいと思っております。

以上です。

本日の会議はこれで終了します。

ありがとうございました。